



## 居場所づくり応援団 よろんごの木

市内比角地区の住民有志  
が「心をつなぐ居場所つく  
り応援団 よろんごの木」

を立ち上げた。21日から開  
設する「ひだまりの家」(三  
和町、ロージィ・コート内)  
など毎月から来月にかけ、

地区内3カ所で居場所づく  
りを進めることになり、利  
用会員と合わせ、支え合い

事業は、「はじめの一歩」  
として「ひだまりの家」は  
毎週月曜午前10時~正午  
(第1月曜・祝日除く)、

30日から開設の「ハートフ  
ル」(東本町3、小さな絵  
本館サバト内)は毎週水曜  
午前10時~正午(祝日除く)  
で、それぞれお茶のみの会  
を楽しむ。

また、活動本部となる  
「ほっとステーション」(長  
浜町、日吉神社隣民家)は  
12月10日からオープンの予  
定で、毎週土曜午前10時~  
午後3時。昼食の持参がで  
きる。利用料は1時間10  
円で、同月21日から毎月  
第3水曜にワンコイン夕食会  
(夕食別途500円)を

発起人、同地区の小学校  
にあり、シンボルとして親  
しまれたヨロンゴ(エノキ)  
の木から名をつけた。

事業は、「はじめの一歩」  
として「ひだまりの家」は  
毎週月曜午前10時~正午  
(第1月曜・祝日除く)、

30日から開設の「ハートフ  
ル」(東本町3、小さな絵  
本館サバト内)は毎週水曜  
午前10時~正午(祝日除く)  
で、それぞれお茶のみの会  
を楽しむ。

また、活動本部となる  
「ほっとステーション」(長  
浜町、日吉神社隣民家)は  
12月10日からオープンの予  
定で、毎週土曜午前10時~  
午後3時。昼食の持参がで  
きる。利用料は1時間10  
円で、同月21日から毎月  
第3水曜にワンコイン夕食会  
(夕食別途500円)を

始めた。ほかの2カ所の利  
用は無料だが、会員登録が  
必要。

このほど行った提供会で  
はいろいろな方面から物資  
協力を受け、市内に避難し  
ている人たちの橋渡し役を  
務めた。吉田さんは「被  
災者支援も含め、地域近郊  
の子どもから高齢者までを  
対象にした居場所づくり、  
高齢者などの生活支援を自  
ら行う」と話す。

募集の利用会員はお茶会  
や食事会などのミニディサ  
ロコンに参加したい人、話し  
相手・家事などの手伝いを  
してほしい人、子育ての手  
助けをしてほしい人など。  
年会費は2400円。お助  
けマン利用料はごみ出し、  
電球交換が1回100円な  
ど。居場所スタッフ、お助  
けマン、資金面での支援を  
する賛助会員の詳しい募集  
内容は「よろんごの木」(仮  
事務局の比角コミセン内、  
電話24・7487、ファク  
ス21・4601)へ。

# 高齢者や子育て支援 比角地区有志が立ち上げ

「応援団 よろんごの木」  
は県の地域支え合い体制つ  
くり事業の補助を受け、同  
地区的まちづくり事業実行  
委員の有志でつくる。吉田  
建夫さん、須田貴子さんを  
「よろんごの木」が行つ  
た被災者支援の衣料提供  
会(比角「ミセン」)

また、活動本部となる  
「ほっとステーション」(長  
浜町、日吉神社隣民家)は  
12月10日からオープンの予  
定で、毎週土曜午前10時~  
午後3時。昼食の持参がで  
きる。利用料は1時間10  
円で、同月21日から毎月  
第3水曜にワンコイン夕食会  
(夕食別途500円)を

始めた。ほかの2カ所の利  
用は無料だが、会員登録が  
必要。